

# 今、何の病気が流行しているか！

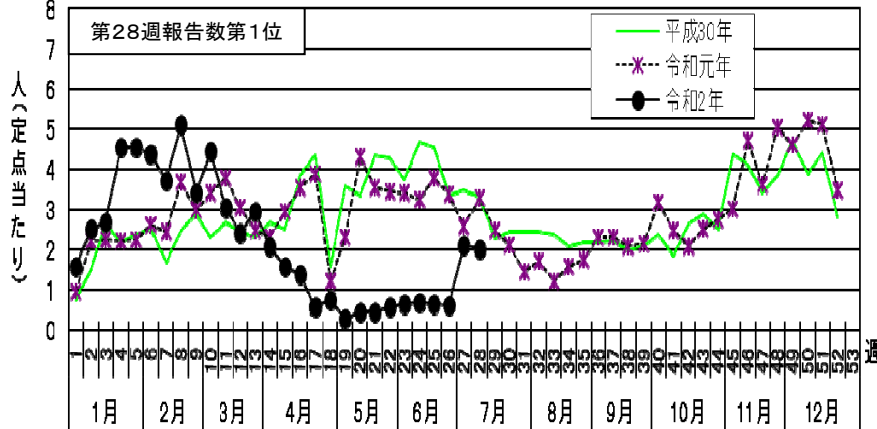
## 【感染症発生動向調査事業から】

令和2年7月6日（月）～令和2年7月12日（日）〔令和2年第28週〕の感染症発生状況

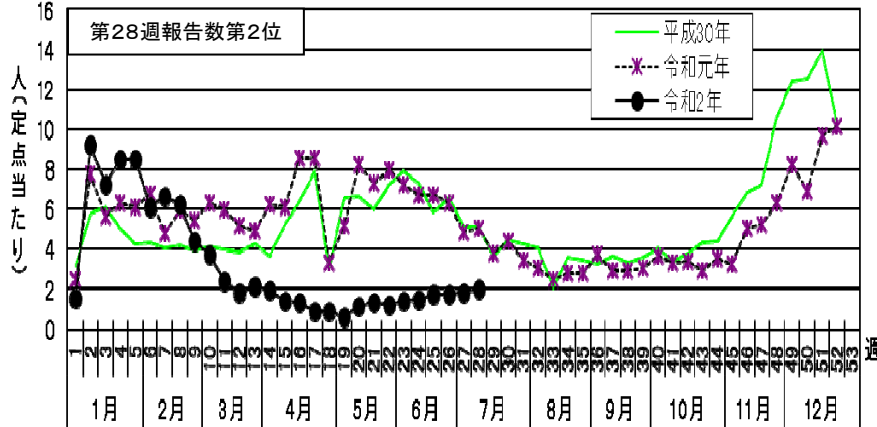
第28週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 2) 感染性胃腸炎 3) 突発性発しんでした。  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.03人と前週（2.14人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.00人と前週（1.81人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。  
 突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.49人と前週（0.62人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



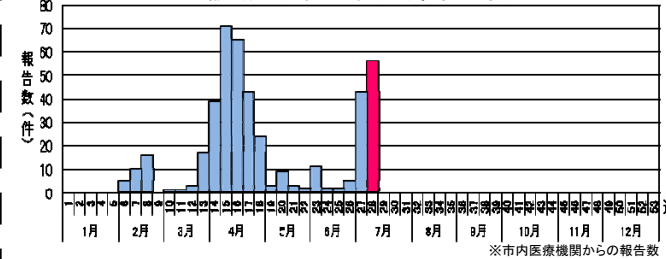
感染性胃腸炎発生状況(3年間)



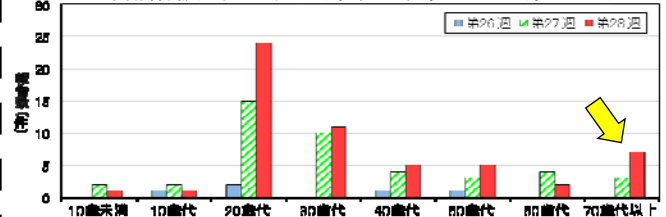
## 重症化リスクの高い方は御注意を！～新型コロナウイルス感染症～

川崎市における令和2年第28週（7月6日～7月12日）の新型コロナウイルス感染症の報告数は56件と、第27週（6月29日～7月5日）の43件からさらに増加しました。年齢階級別では20～30歳代の割合が全体の62.5%と依然として高いものの、第27週以降70歳代以上の報告も増加しています。  
 高齢者や基礎疾患のある方は重症化のリスクが高いため、マスクの着用や手洗いなどの基本的な感染対策を特に徹底しましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の診断週別発生状況(令和2年)



川崎市における新型コロナウイルス感染症の年齢階級別発生状況(令和2年第26週～第28週)



### 新型コロナウイルス感染症の重症者・死亡者の割合

令和2年7月8日18時時点

#### 重症者割合(%)

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
0.0	0.0	0.0	0.8	0.8	1.4	13.1	7.0	3.3

重症者割合：年齢階級別にみた重症者数の入院治療等を要する者に対する割合

#### 死亡率(%)

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	1.1	4.9	14.6	28.7

死亡率：年齢階級別にみた死亡者数の陽性者数に対する割合

厚生労働省HP 「新型コロナウイルス感染症の国内発生動向」より抜粋



60歳代以上では重症者割合、死亡率ともに高くなるため、感染防止対策を徹底することが重要です。